

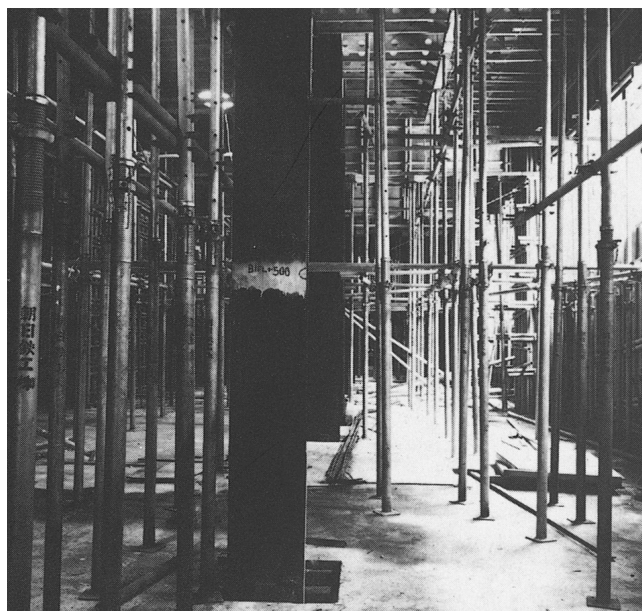
パイプサポート

特長

- 1) 仮設工業会の認定基準（構造規格）を上廻り安定した強度が得られます。
- 2) スライド盤はダクタイル（FCD-40）、支持ピンは特殊鋼（S-45-C）を使用していますので破損することはありません。

使用上の注意

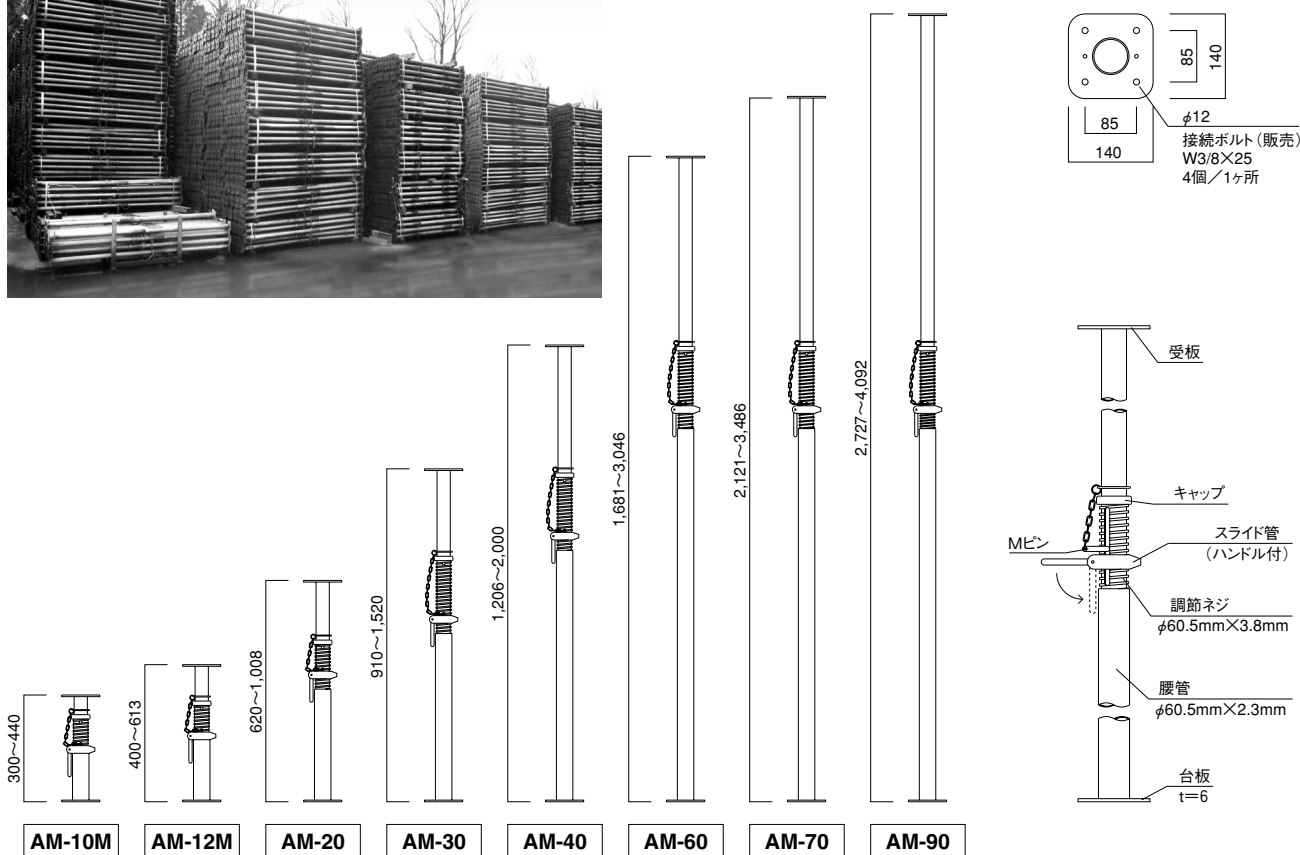
- 1) パイプサポートを1本継いだとき、衝撃荷重、偏心荷重のかかる虞れのあるときは専用の金具で筋かいを設けて下さい。
- 2) 受板には一様に荷重をかけ、偏心荷重がかからないようにして使用して下さい。
- 3) サポートのパイプ（特に差込管）に凹みを生じたものは使用しないで下さい。
- 4) 修理を行うときはガス等で行いますと強度の低下をきたしますので、十分注意して下さい。
- 5) 丸太等との併用は強度が一定しないので使用しないで下さい。



■パイプサポートの型式と調節範囲（使用長さ）及び重量

表面処理：溶融亜鉛メッキ

	AM-10M	AM-12M	AM-20	AM-30	AM-40	AM-60	AM-70	AM-90	AM-1.2	AM-1.8
最少使用長 (mm)	300	400	620	910	1,206	1,681	2,121	2,727		
最大使用長 (mm)	440	613	1,008	1,520	2,000	3,046	3,486	4,092	1,200	1,800
重量 (kg)	4.0	6.5	7.0	8.6	9.6	12.6	14.2	15.7	5.1	8.0



■パイプサポートの使用長さの応用と使用強度

種別	使用長さの応用範囲 (m/m)	使用強度 (kN)	使用条件
AM-90型	階高4,150以下のスラブ下及び2,800以上の梁下、開口部には特種のみで施工できる。	19.6以下	(1) 使用長さ2,400以上の場合には中間つなぎを設ける。 (2) 中間つなぎを設けない場合の使用強度 特種(90型):9.8kN以下 一種(70種)、二種(60型):14.7kN以下
AM-70型	階高3,700以下のスラブ下及び2,350以上の梁下、開口部には一種のみで施工できる。		
AM-60型	階高3,300以下のスラブ下及び1,900以上の梁下、開口部には二種のみで施工できる。		
AM-40型	2,300以下、13.50以上のスラブ下又は開口部窓下には三種のみで施工できる。		
AM-30、20型 AM-12、10型			つなぎ不要

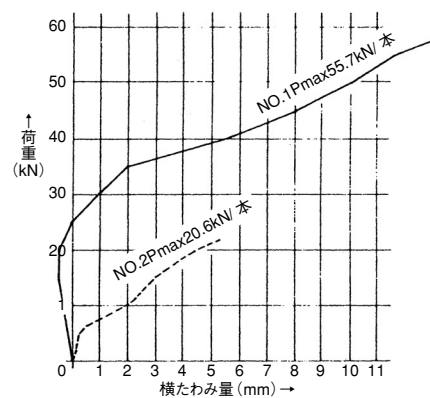
部材部品名称	当社製			構造規格 (仮設工業会認定基準)		
	種類	外径	肉厚	種類	外径	肉厚
差込管	3種 (STK-500)	48.6	2.2up	3種 (STK-500)	48.6±0.25	0.5±0.3
腰管	2種 (STK-400)	60.5	2.3	2種 (STK-400)	60.5±0.25	2.3±0.3
					63.5±0.25	2.3±0.3
スライド盤	球状黒鉄鋳鉄品 (JISG-5502) ECD40山数4m/寸ネジ部長さ30mm			ネズミ鋳鉄品 (JISG-5501) FCZ-O ネジ部の長さ30mm以上		
支持ピン	機械構造用炭素鋼 12φ (JISG-4051:S-45-C)			機械構造用炭素鋼 11φ以上 (JISG 4051:S-35-C)		
受板・台板	幅6X140X140 (JISG-3101:SS)			幅5.4m/m以上 (JISG-3101:SS)		

※1.差込管の材質:一般構造用炭素鋼管 (JISG-3444:3種)
 ※2.腰管の材質:一般構造用炭素鋼管 (JIS-3444:2種)
 ※3.日本工業規格:JISA-8651 (1977) につき参考とする (S52.8.1改正)

座屈荷重	型式	AM-20型	AM-30型	AM-40型	AM-60型	AM-70型	AM-90型	AM-1.2型
当社製品 (kN)		※54.9	※54.9	54.9	53.9	53.9	53.9	65.7
構造規格	最小値	35.3以上						39.2以上
工業会認定標準 (kN)	平均値	39.2以上						4.31以上
試験長さ (m/m)		1,008	1,520	2,000	3,460	3,486	3,500	1,200

荷重-横たわみ線図

パイプサポート (AM-90+AM-1.2) H-5.0m



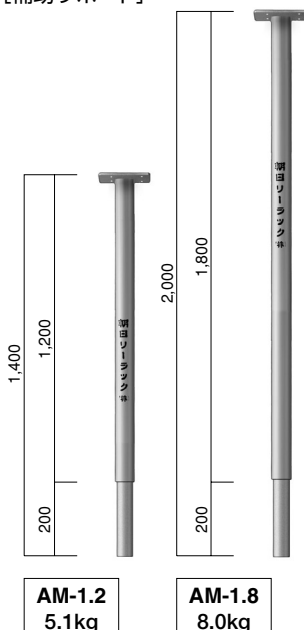
労働省産業安全研究所試験

NO.1 高さ2m以内ごとに直角2方向に水平つなぎ設け且つ変位防止のための筋かいを取付けたときの最大荷重 (kN)
 NO.2 水平つなぎ及び筋かいを取付けない時の最大荷重 (kN)



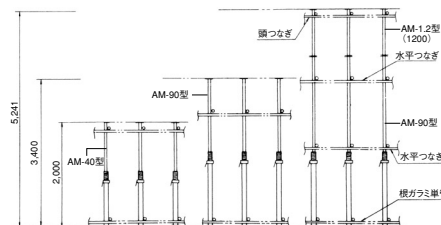
◆つなぎ材の取り方

[補助サポート]



- 2.4m未満の使用長に対しては許容荷重19.6kN限度として扱う。
- 3.4m以上の使用長に対しては許容荷重19.6kN限度とし、高さ2m以内ごとに水平つなぎを直角2方向に設け、かつ水平つなぎの変位を防止する措置を講ずる。
- 補助サポートを使用の場合は許容荷重7.35kN限度として扱う。

●パイプサポートにつなぎ(φ48.6)で補強の際は必ずクランプをご使用下さい。



直交クランプ
 KM-605D...0.90kg
 KM-605...0.76kg



自在クランプ
 KF-605D...0.91kg
 KF-605...0.77kg



■トラック標準積載量

車種	型式	AM-10M	AM-12M	AM-20	AM-30	AM-40	AM-60	AM-70	AM-90	AM-1.2	AM-1.8
4t車平		875	538	500	407	364	277	246	223	686	437
4t車ユニック		750	461	428	349	312	238	211	191	588	375
11t車平		2,500	1,538	1,428	1,162	1,041	793	704	637	1,960	1,250
11t車ユニック		2,000	1,230	1,142	930	833	635	563	509	1,568	1,000